

## 1.3 第三学群

### 1 第三学群の活動

全学の教育関係重点目標に沿って、学類ごとに教育目標を明確化し、それを実行することにより教育内容の向上に努めた。また、学生生活、国際交流、管理運営及び研究に関しても、昨年に引き続き、学群及び学群周辺地域に共通の問題については、学群運営委員会を通じて関連研究科及び学系との協力体制を緊密に維持することによって、迅速かつ有効な解決に努めた。

グローバル化の流れを受けて、国際的に通用するエンジニアを育てるため、国際基準適合性を備えた教育体制の確立が課題となっている。近年、我国としてもJABEE（日本技術者教育認定機構）が設立され、審査が行われている。第三学群でも審査に必要とされる科目（「技術者倫理」と「知的財産権と技術移転」）を学群共通科目として平成14年度から開講し、各学類の対応を促してきた。現在のところ、工学システム学類が平成16年度に審査を受ける予定で準備を進めているが、それに続いて工学基礎学類、情報学類も審査を受ける予定である。

学際的な科目が多い第三学群と縦割りの専門科目が多い茨城大学工学部との間で単位互換協定が結ばれ、相互の教育交流が行われるようになった。カリキュラム選択の自由度を広げることは両大学に学ぶ学生に勉学意欲を向上させる効果が期待できる。

### 2 教員の教育業績評価の状況

第三学群では、全ての学類において学生による授業評価を実施している。しかし、結果の公表については、それぞれの学類の自主性に任せている。学群共通の教育業績評価基準は設けていない。

### 3 自己評価と課題

平成16年度に国立大学法人化を控え、本学も変革の時期を迎えている。少子化による入学生の学力低下に対するきめ細かい対応、JABEE等のアグレディテーションに対応するための教育改革、大学院と提携した高度職業人・研究者養成のための基礎教育、これら質の異なる学内外からの要請に対してどのように応えていくかが第三学群の当面の課題である。

### 4 その他特記事項

ファカルティディベロップメント（FD）に関しては、全学の「学群・学類授業参画プロジェクト」に積極的に参加するとともに、システム情報工学研究科と共同してFD委員会を発足させた。

第三学群安全対策委員会は学群棟、学類棟及び関連施設の安全視察、指導等について活発に活動している

工学基礎学類、工学システム学類が企画・開催した高校生を対象とした体験学習は本年度も大変好評であった。